

趣味倶楽部

社長を息子に譲り、一転してお百姓に。 こだわりの無農薬無肥料農業に挑戦!!



(西三河支部)
有限会社アイミ
取締役会長

石川 信夫 さん



名鉄碧南中央駅を降りると、(有)アイミ(愛知県碧南市栗山町三丁目43番地 Tel 0566(41)4326)代表取締役会長 石川信夫氏が迎えに来てくださいました。今回は石川会長の無農薬無肥料農業に取り組むこだわりの趣味についてお話を伺います。

■農業が趣味と伺いました。規模はどれくらいなさっているんですか?

石川 碧南市、西尾市、半田市に13か所の田んぼと畑を持っています。全部合わせると6000坪くらいでしょうか。

■6000坪…もう趣味のレベルではありませんね(笑)。

石川 私もこれほどの規模になるとは思っていませんでしたが、米作りを始めるにあたり毎年1年分のお米を購入していた農家の方に、今年の購入をお断りしようと思うと「うちには跡継ぎもいないし、ちょうど農業をやめようと思っていたところだけれど、一緒にやってくれないか」と声をかけていただいたのをきっかけに、その方のシステムなどを譲ってもらい、さらにコンバインなども購入して規模が拡大してしまいました。

■これがコンバインですか。ウエアーもアニメに出てくるモビルスーツのようでカッコいいですね。

石川 そうでしょう、エアコンも完備されているんですよ(笑)。高級車に乗って飲みに行くのもいいけれど、コンバインに乗って稲刈りするのも

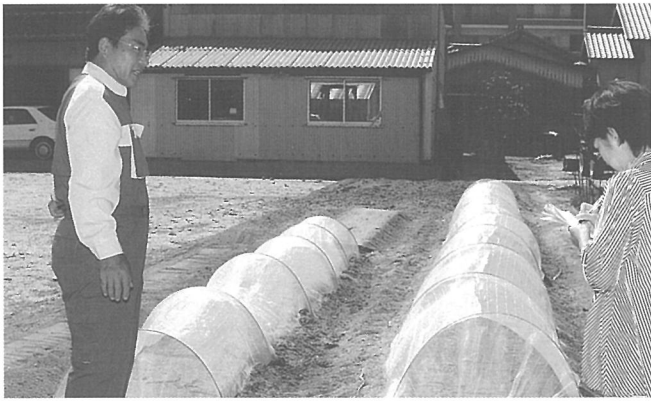
なかなか楽しいものですよ。

■ほんとうですね、何だかあこがれます。それにしても石川さんが農業を始めようと思ったきっかけは何だったんですか?

石川 生きるために「食」というのは非常に大切です。自分の健康を考えるうちに、自分で作った安心、安全なものを食べたいという気持ちが大きくなりました。それにいくつかの災害を目の当たりにし、この地域にもいつ訪れるか知れない東海大震災のことを考えると、災害時にはいくらお金があっても物がなければ買えない、物を持つことの必要性を感じました。そこで自分たちが食べる分くらいは自分で作ろう、自分で作ったものを食べてみたいと考えました。

■ご自分で作れば、まさに安心安全ですね、そう感じて作り始めて4年と伺いました。





石川 農家になるには農業委員会の審査を得て許可が必要です。私は7年前にも挑戦しましたが、その時は許可が下りませんでした。そして再チャレンジで4年前に許可を得ることができました。許可を受けるには土地の広さ、機械、経験、技術の審査など色々大変でした。

農機具も、農業研修も、耕作面積も、何もかもが本格的

■大変な審査をクリアしていらっしゃるんですね、やっぱり趣味レベルではないような(笑)。

石川 そうですね、友だちが私の場合は趣味ではなくて道楽だと言っています。なんせ持ち出しが多いからです…でもゴルフに毎月何度も行くとか、飲み屋に飲みに行くことを考えれば、お金の使い道が違うだけだと思っています。ですから自分では趣味だと思っています(笑)。

■農業の魅力は何ですか？

石川 今私が取り組んでいるのは、自然栽培というもので、無農薬無肥料で作物を育てています。農業を始めて、いろいろな情報を調べているうちに出会った農法です。千葉や横浜にも研修に行きました。

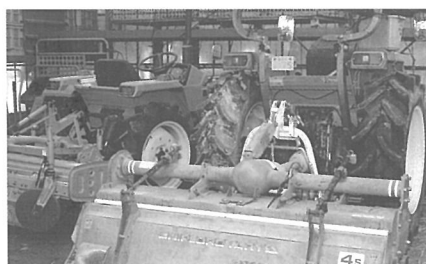
※コンバインなどが置いてある場所から畑に移動しました。

■こちらの畑も自然栽培なんですか？

石川 はい。ここの野菜は種も自家採種です。収穫が終わったツルや葉は畑のすみで水をかけ、シートをかけて発酵させます。発酵前ミミズなどの生物がやってきますが、有機物がなくなるとミミズたちもいなくなります。そうしたらもう一度畑に戻します。自然の営みを大切にしているので、まだまだ思ったようにできないこともあります。それが喜びでもあります。日、水、土、そして野菜本来の力を信じて、その力を引き出すことを考えています。力を発揮した野菜たちのおいしさは格別です。

■何だか人を育てることとも共通しますね。持っている力を引き出して育てる、素晴らしい考え方だと思います。

石川 一生懸命農業のことを調べているうちに自然栽培に出会いましたが、どんどん知っていくうちに最近では健康オタクになってきました、と言っても体を動かし、水分をたっぷりとり、日光にあたり、そして体



が欲するものを食べるというシンプルなものです。

■まさに自然栽培ですね(笑) 今後はどんなことを考えていらっしゃるんですか？

石川 育てた野菜や米は家族で食べたり、従業員さんに食べてもらったり、特にお米はお歳暮に贈ると“おいしい”と喜んでくれる皆さんの顔を思い浮かべながら、手間をかけておいしい作物を作って行きたいと思っています。そのためにも今後、稲の苗まで自分で作ってみたいと思っています。

今日は石川氏の畑や田んぼなど移動しながら、農業にかける思いを熱く語っていただきました。田んぼでは、石川氏の田んぼ側のあぜ道だけ雑草が青々としていて、お隣は除草剤で枯れているという現実を拝見しました。除草剤を極力使わず、自分が田んぼに入って手除草する、手間を惜しまない石川氏のお米はきっと皆さんに愛される味だと確信しました。お忙しい中、お時間をいただきありがとうございました。

